

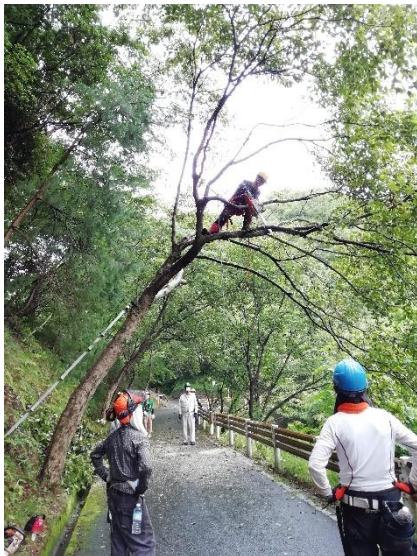
根来山げんきの森倶楽部

令和3年7月作業日誌



今回の活動日は倶楽部員41名が集まり、来園者の方がより楽しく、安全にげんきの森を利用していただけると、支障木の整備や草刈り、あじさいの剪定とそれぞれの作業に汗を流しました。

活動日：令和3年7月18日 9:30～15:00 天気：晴れのち雨 倶楽部員：41名



開園した頃の明るさに

管理車道の支障木整備…本日の作業は園内の管理車道の支障木の整備です。消防の車が通れるように、3・5メートルの高さまで道路に枝や木が張り出さないようにしておく必要があるということで、道具小屋から道を下りながら作業を進めました。作業を始めた時は晴れていたのですが、途中から雨が降ったりやんだりの安定しない天気での作業になりました。木に登って切る人、ロープで木を引っ張る人、切り落とした木の枝を払ったり道路脇に片付けたり、皆さんそれぞれ分担し、C地点までの作業ができました。作業中、ウルシ谷作業班の軽トラが通りかかり枝の運搬を手伝っていただき、とても助かりました。作業を終えて見ると道に光が差しとても明るくなりました。開園した頃の明る

さだそうです。今回除伐した木には、植物散歩図鑑の番号札がかかった木や巣箱を設置した木があったのですが、番号札は他の場所の木に付け替えました。巣箱には孵化しなかった卵が5～6個残っている巣があり、自然博物館へ持って行くことになったようです。

C地点から炭焼き窯まで見て行くと、道路に張り出した枝がまだまだあります。次回の作業で続きを進めていくことになると思います。本日は皆さんお疲れさまでした。(堀田 正二)



雨降る中のあじさい剪定

紫陽花の剪定…梅雨が明け、雨の心配をせずに参加しました。紫陽花園の方へ向かう際に南の空があやしいのに気づくも、日陰をさがして紫陽花を選ぶほどに陽が射していました。1本を終えて次に取り掛かる際にポツポツきました。そこで藤棚の下で大きい紫陽花を選び、剪定していると段々と強く。他のメンバーも藤棚の下へ集まり、休憩をとりながら雨が止むのを待ちまし

藤棚では雨を避けきれなくなるほどに。雨足が弱くなったところで、皆さんは濡れながら剪定を再開されました。男性4人女性3、4人、剪定が初めての方から緑花センターでの経験者までという構成で、雨での中断はありましたが午前中ですべての剪定を終えました。

剪定方法を印刷した紙と、切る高さを示す竹の棒(70cm)が全員分用意されており作業がはかどりました。慎重派、思い切りのよい派等、メンバーの個性がでた剪定。来年もたくさんの来園者に楽しんでいただける仕事ができたと信じています。(田中 美加)

炭窯の修理と薪割り



炭窯修理…本日（男性9名、女性1名）の作業は、前日に続いての窯上部を叩く班（2名）と、窯の前の残土を片付ける班（8名）に分かれて作業を行いました。窯の上部の細かいヒビを小槌で叩いて消していきました。残土は一輪車で敷地の片隅に運び、枕木も隅に運んで整理しました。また、残土の一部で煙突の根本の盛土の追加と、窯の焚口の前の土間に土を入れて嵩上げをしました。これで午前の作業は終了。

午後の作業（男性4名、女性1名）は、薪割り機の修理が完了した直後だったので、調子の確認と道に置かれた木材の整理を兼ねて薪割り作業を行いました。新人の方と女性の方にも操作をしてもらって炭材と薪を作りました。一方、炭窯内に炭をいこした七輪を入れてみました。温度は30℃～40℃くらいにしかならなかったのので、そのまま炭が消えるまで入れておくことにしました。以上、本日の作業終了。お疲れさまでした。（林 龍三）



雨にも酷暑にもめげず



うるし谷整備…今日のメンバーは10名。作業の内容は入り口近くの竹の整備と作業道に覆い被さるように繁る樹木の除伐、それに、夏の定番作業、草刈りです。チェーンソー3台、草刈り機3台にナタやノコギリを加えてそれぞれ得意技を生かして持ち場に分かれまじました。いざ作業に取りかかったところで雨が降り出したので、作業中断かと思いきやエンジンの音は止まず。手作業組も黙々と作業を続けています。一区切り付けて小休憩の時には雨も止んでいましたが、みんな汗と雨とでびしょびしょに。それでも誰も泣き言は漏らさず「今日の雨は早かったなあ」と澄ましていました。作業を再開して11時半までがんばり、車置き場まで戻ると、竹刈りメンバーがダンプに竹やササを満載しているところでした。現場で昼食を済ませる者と管理棟で昼食を取る者に分かれて昼休憩。午後の作業は5名になりましたが、午前引き続いてかなり広範囲な草刈りと除伐作業に汗を流しました。雨に降られ、また、酷暑にめげずがんばってくれたみなさん、本当にお疲れ様でした。（松下 喜代治）

今年の夏も昨年に引き続いてカシノナガキクイムシ被害が顕著です。ちょうど7月の活動日、管理車道沿いの大きなコナラの葉がしおれてきているのを見つけ、気になってあちこち見てみると、何か所かで同じような木を見つけました。

それから一週間ほどで枯れる木は見事な赤茶色になってきました。目に付く場所だけでも50本以上枯れているようです。

すべての枯れ木の処理は無理ですが、歩道付近の目立つ場所で枯れているものだけでも処理しておきたいと思っています。また、みなさん、ご協力ください。（岡田 和久）